

県関係議員

16人中14人が賛成

反対は田中康夫氏のみ

26日に行われた社会保障と税の一体改革関連法案の衆院本会議採決で、兵庫関係の議員は16人中14人が賛成。民主議員11人のうち、造反は欠席した中間派の梶原康弘氏(兵庫5区)1人だった。

直前まで対応を未定。民主党がマニフェストの理念を掲げたことと説明。「反対は党を割る行為」と自身の判断で欠席を決めたという。開会直前、岡田克也副総理から賛成を求めた電話が入ったが態度を変えなかった。

党内から大量の造反者が出たことなど、一体執行部の姿勢に大きな懸念を抱いたと説明。「反対は党を割る行為」と自身の判断で欠席を決めたという。開会直前、岡田克也副総理から賛成を求めた電話が入ったが態度を変えなかった。

改革特別委員会の委員を務めた民主党の石井登志郎氏(同7区)は「大変複雑な心境としながら、今日の判断がわが国の将来に寄与するものとする」とする。

岡田康裕氏(同10区)も「党内論議は尽くした。意思決定のプロセスに不備はない」と強調した。

竹島(島根県)の領有権をめぐる韓国側の主張も賛成した。

自民の2人、公明1人に沿った共同宣言文に署名した問題で昨年3月、民主から離党した無所属の土肥隆一氏(同3区)は、採決では賛成に回った。「社会保障制度安定のため、いつかは増税が必要。制度内容の議論を、国民会議に委ねた点も評価できる」とした。

一方、ただ一人反対票を投じた新党日本代表の田中康夫氏(同8区)は、今国会での採決に反対する有権者が大半を占めた世論調査の結果に触れ、「国民の思いに『造反』しているのはどちらか」と賛成した議員、政党の姿勢を批判した。

山崎史記子、段貴則、白倉麻子、佐藤健介が分かれた。同党兵庫県

県関係議員の法案賛否

兵庫関係衆院議員の法案賛否は次の通り。  
(敬称略)  
【賛成】民主井戸正枝(1区)▽向山好一(2区)▽高橋昭一(4区)▽市村浩一郎(6区)▽石井登志郎(7区)▽岡田康裕(10区)▽松本剛明(11区)▽山口社(12区)▽室井秀子(比例近畿)▽浜本宏(同)

自民西村康徳(9区)▽谷公一(比例近畿)公明赤松正雄(同)無所属土肥隆一(3区)  
【反対】新党日本田中康夫(8区)  
【欠席】民主梶原康弘(5区)

第5区総支部の西田直勝副代表(7)は「苦しい立場の中でベターな選択だったのでは」と理解を示し、「党内に残り、消費税を生かす枠組みづくりに取り組んでほしい」と話した。

一方、丹波地域の支持者の男性は「苦しくてもしっかり選択するのが、国会議員の務め」と指摘し、「欠席は責任放棄」と批判した。

梶原氏欠席 評価割れる

兵庫5区の支持者

消費税増税を柱とする一体改革関連法案の衆院採決で本会議を欠席し、県関係の民主議員ではただ一人「造反」した梶原康弘氏(兵庫5区)。

地元では支持者らの評価が分かれた。同党兵庫県

氏。壇上では胸を張り反対の「青票」を投じた。反対に回った民主議員は57人になり、造反票は次々と積み上がった。

午後3時20分すぎ、衆院本会議場で横路孝弘議長が増税法案の可決を宣言。本会議終了後、小沢

氏はゆっくりと廊下を歩きながら、意を決したように「よし」と独り言をつぶやき、迎える車に乗り込んだ。

支持グループの会合で当面は党に残留する意向を示した小沢氏だが、午後5時半から記者団の取材に応じた際は「(増税は)国民に対する背信行為」と厳しい口調で批判。「近いうちにどうするか決断しなければならぬ」と離党や新党結成の可能性もおおわせた。

「党執行部は速やかにやめるべきだ」と憤るのは辻恵氏(大阪17区)。

集団離党が取り沙汰されていることには「民主党の理念を体現しているのは私たち。出て行く理由はない」と語った。

造反した議員からは増税に突き進む首相と賛成派への不満が噴出した。

三宅雪子氏(比例北関東)は「これだけ反対があったら、賛成できることが信じられない。信念を貫けて本当に良かった」と興奮気味に語った。

大量造反を出しながらも、消費税増税法案が可決されると、野田佳彦首相はほっと安堵の表情を浮かべ深々と一礼した。

対照的に、小沢一郎民主

法案に反対 「党出る理由ない」

民主議員

民主党分裂の危機をほらみながら迎えた26日の衆院本会議。増税法案の投票が近づくと、両手で髪を触るなど落ち着かないそぶりを見せた小沢

氏。壇上では胸を張り反対の「青票」を投じた。反対に回った民主議員は57人になり、造反票は次々と積み上がった。

午後3時20分すぎ、衆院本会議場で横路孝弘議長が増税法案の可決を宣言。本会議終了後、小沢

氏はゆっくりと廊下を歩きながら、意を決したように「よし」と独り言をつぶやき、迎える車に乗り込んだ。

支持グループの会合で当面は党に残留する意向を示した小沢氏だが、午後5時半から記者団の取材に応じた際は「(増税は)国民に対する背信行為」と厳しい口調で批判。「近いうちにどうするか決断しなければならぬ」と離党や新党結成の可能性もおおわせた。

「党執行部は速やかにやめるべきだ」と憤るのは辻恵氏(大阪17区)。

集団離党が取り沙汰されていることには「民主党の理念を体現しているのは私たち。出て行く理由はない」と語った。

造反した議員からは増税に突き進む首相と賛成派への不満が噴出した。

三宅雪子氏(比例北関東)は「これだけ反対があったら、賛成できることが信じられない。信念を貫けて本当に良かった」と興奮気味に語った。

大量造反を出しながらも、消費税増税法案が可決されると、野田佳彦首相はほっと安堵の表情を浮かべ深々と一礼した。

対照的に、小沢一郎民主

法案に反対 「党出る理由ない」

民主議員

民主党分裂の危機をほらみながら迎えた26日の衆院本会議。増税法案の投票が近づくと、両手で髪を触るなど落ち着かないそぶりを見せた小沢

氏。壇上では胸を張り反対の「青票」を投じた。反対に回った民主議員は57人になり、造反票は次々と積み上がった。

午後3時20分すぎ、衆院本会議場で横路孝弘議長が増税法案の可決を宣言。本会議終了後、小沢

氏はゆっくりと廊下を歩きながら、意を決したように「よし」と独り言をつぶやき、迎える車に乗り込んだ。

国民不在の造反騒動

衆院本会議で消費税増税法案に反対票を投じ、記者会見する民主党の小沢元代表=26日午後、衆院第1議員会館



大量造反を出しながらも、消費税増税法案が可決されると、野田佳彦首相はほっと安堵の表情を浮かべ深々と一礼した。対照的に、小沢一郎民主

法案に反対 「党出る理由ない」

民主議員

民主党分裂の危機をほらみながら迎えた26日の衆院本会議。増税法案の投票が近づくと、両手で髪を触るなど落ち着かないそぶりを見せた小沢